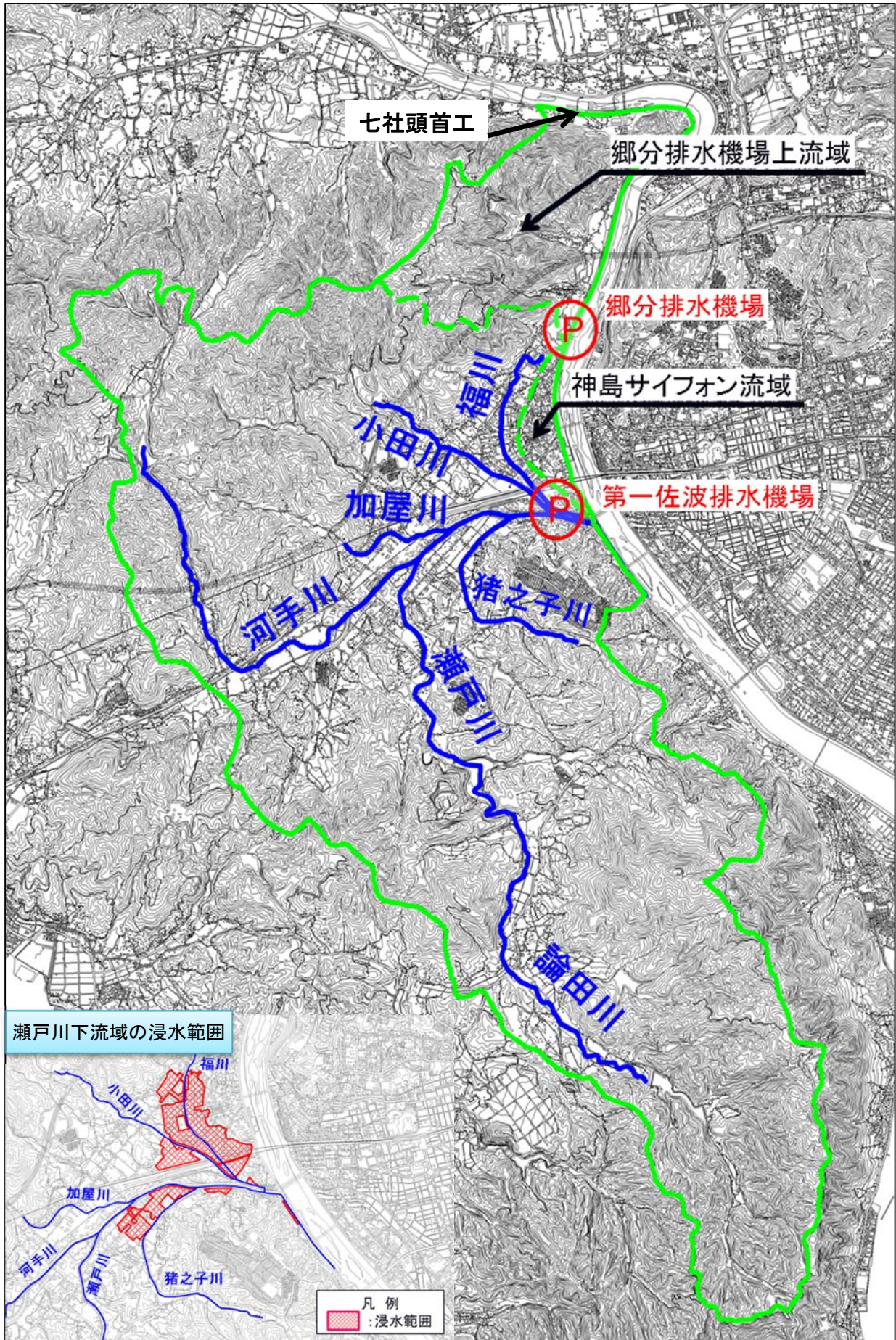


瀬戸川流域における治水対策について

～中・長期的な取組～

平成 29 年 7 月

瀬戸川流域における治水対策検討会



出典：浸水戸数は、福山市調査結果
 氾濫面積は、航空写真等より転記

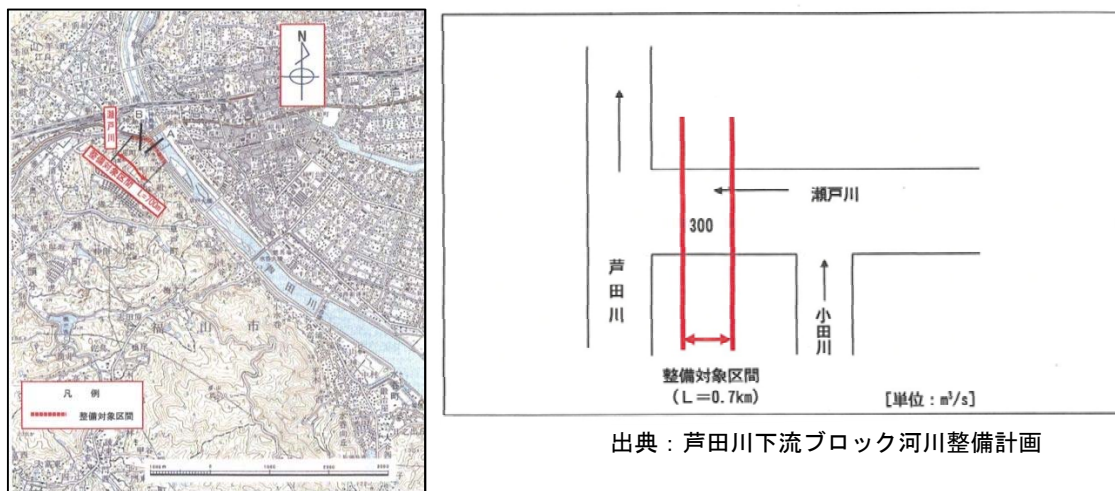
図-1 瀬戸川流域及び主な河川位置図

1 瀬戸川・猪之子川関連

1) 河道整備 【ロードマップ② 河川整備計画の推進】

芦田川下流ブロック河川整備計画の瀬戸川河川改修計画に基づき事業を推進し、1/30年確率の流量に対して、河道内で安全に流下させる。

- 実施内容：整備対象区間の河川改修工事
- 実施箇所：稲荷橋（0k700）～観音橋（1k400）（L=0.7 km）
- 実施効果：下流端の計画高水流量 300 m³/s（1/30年）に対する流下断面確保



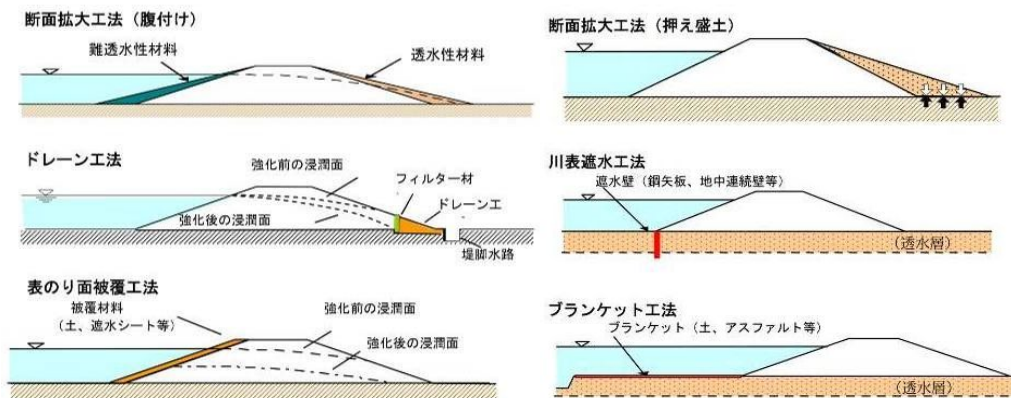
出典：芦田川下流ブロック河川整備計画

図-2 瀬戸川における河川改修計画平面図及び計画高水流量配分図

2) 堤防質的整備 【ロードマップ③ ドレーン工等による浸透対策】

瀬戸川及び猪之子川の重点監視区間に設定した築堤部の浸透対策工を実施し、浸透流による堤防破壊を防止する。

- 実施内容：浸透対策工法
- 実施箇所：築堤区間における浸透・侵食箇所
- 実施効果：堤防の質的強化及び破堤防止



出典：芦田川水系河川整備計画

図-3 浸透対策工法例（イメージ図）

3)防災情報の提供【ロードマップ⑤ 洪水ハザードマップの作成・公表,⑦ 主要箇所への避難経路などの作成支援】

計画規模降雨及び想定最大規模降雨を外力とした洪水浸水想定区域図に基づき、洪水ハザードマップを作成・公表し、住民の避難行動に資する情報提供を実施する。

- 実施内容：洪水ハザードマップの作成・公表
- 実施箇所：瀬戸川など
- 実施効果：洪水時における地域住民の円滑かつ迅速な避難確保による水災被害軽減
防災学習教材としての活用

4) 地域との連携

【ロードマップ⑨ 自主防災組織と連携した防災マップの作成及び周知,⑩ 自主防災組織による避難マニュアルの作成】

洪水ハザードマップに基づき、地域（住民）と連携した防災マップを作成・周知するとともに避難マニュアルを作成し、防災意識の向上を図る。

5) 維持管理 【ロードマップ⑰ 堆積土砂撤去 樹木伐採】

河道の適切な維持管理を実施し、治水機能の維持を図る。

- 実施内容：河道内における堆積土砂撤去及び樹木伐採
- 実施箇所：瀬戸川，猪之子川
- 実施効果：出水時における河道の流下断面の確保

2 福川関連

1) 排水機場等の整備 【ロードマップ③ 福川排水機場(仮称)の整備 9m³/s】

瀬戸川の整備対象区間における河川改修工事の完了時期に合わせ、段階的に福川排水機場の整備を進める。

- 実施内容：排水機場整備（ポンプ能力9 m³/s）
- 実施箇所：福川下流端
- 実施効果：平成28年6月23日出水の再度災害防止

下流端の計画高水流量 15 m³/s (1/10年)に対する排水能力確保
(河川からの越水による家屋浸水被害防止)

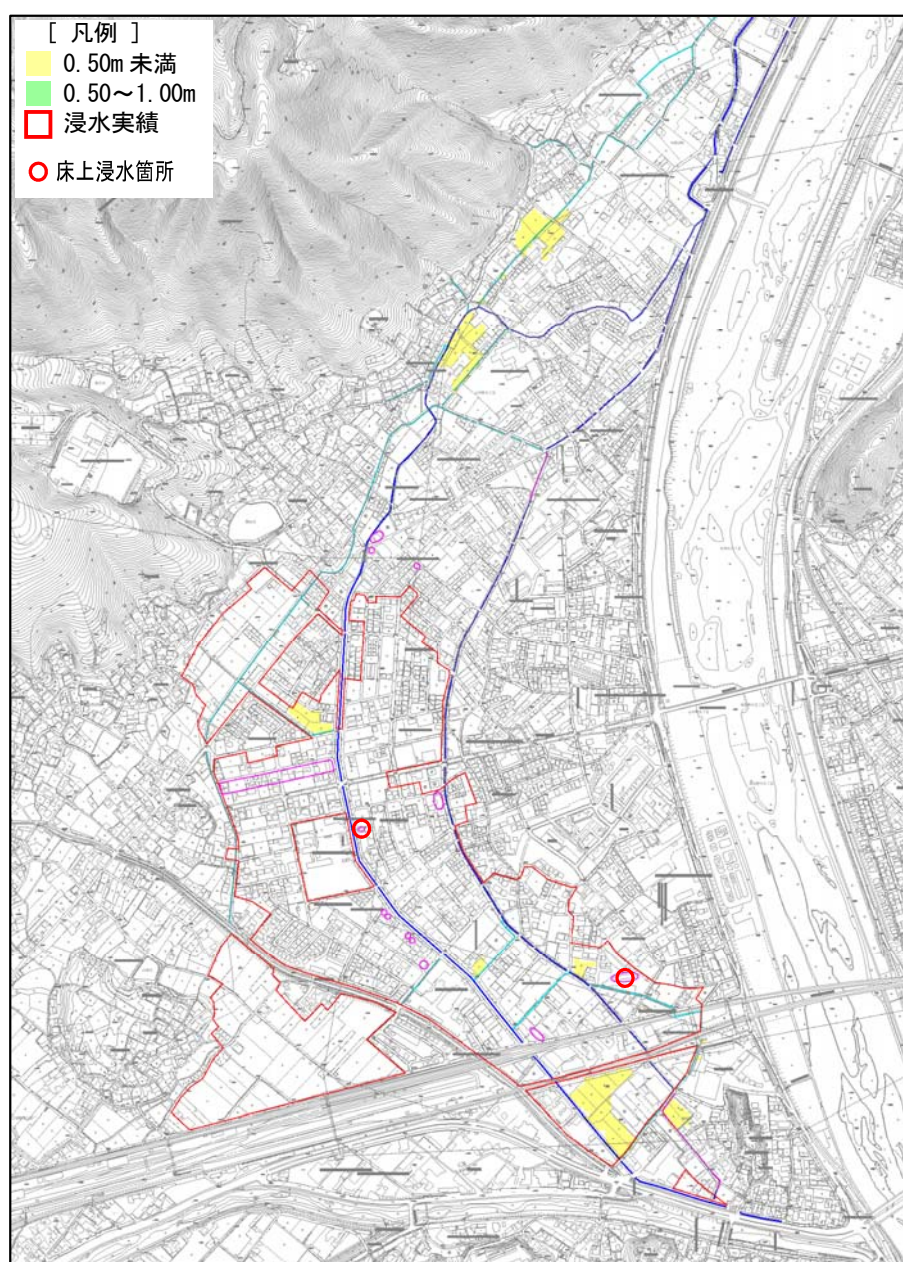


図-4 福川排水機場（仮称）整備実施後の浸水範囲（H28.6.23 出水を再現）

2) 河道・排水機場・下水道の整備，流出抑制対策 【ロードマップ②，④，⑤，⑦】

総合的な内水排除対策の検討（内水シミュレーション）に基づき，各対策別の効果について整理・検証し，効果が認められた対策について，順次実施する。

3) 防災情報の提供 【ロードマップ⑩ 避難に係る基準水位の設定と周知・運用】

福川で設定した内水氾濫に対する基準水位の検証を行い，水位の見直しなど運用の改善を図る。

- ・実施内容：基準水位の設定
- ・実施箇所：福川
- ・実施効果：内水氾濫に係る危険度情報の共有

地域住民の円滑かつ迅速な避難確保による水災被害軽減

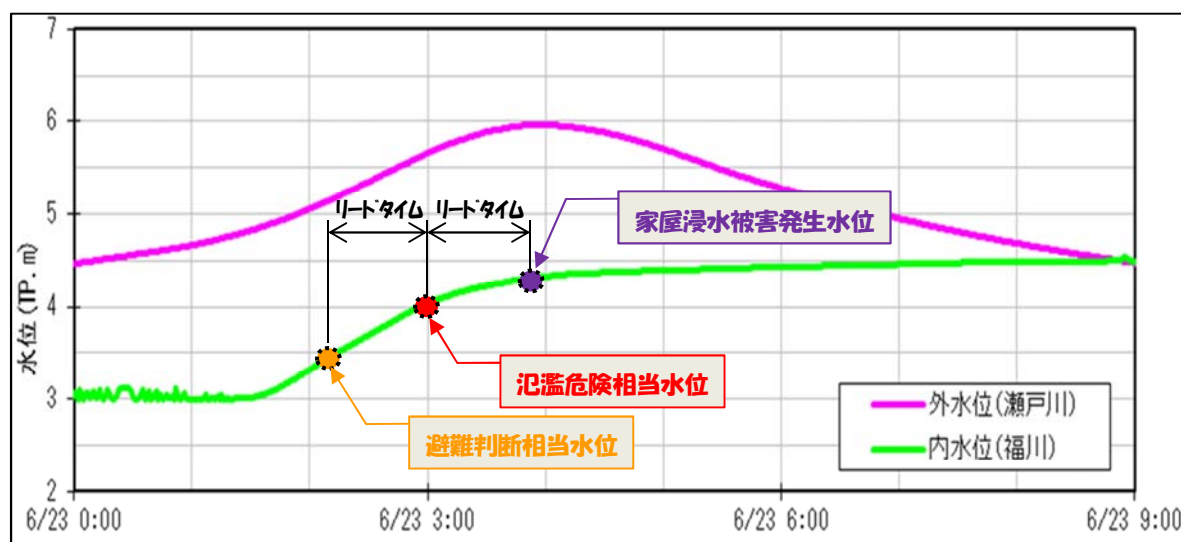


図-5 福川における基準水位設定イメージ (H28.6.23 出水の再現水位より設定)

4) 地域との連携

【ロードマップ⑭ 自主防災組織と連携した防災マップの作成及び周知，⑮ 自主防災組織による避難マニュアルの作成】

地域（住民）と連携を図る中で，避難マニュアル作成支援に取り組むなど，防災意識の向上を図る。

5) 維持管理 【ロードマップ⑳ 堆積土砂等の撤去】

河道の適切な維持管理を実施し，治水機能の維持を図る。(必要に応じ，継続的な維持管理を実施)

- ・実施内容：河道内における堆積土砂撤去及び樹木伐採
- ・実施箇所：福川
- ・実施効果：出水時における河道の流下断面・貯留断面の確保

3 その他(内水域等)

1) 河道の整備 【ロードマップ① 用排水路の排水能力向上】

浸水対策検討業務の策定したハード整備実施計画に基づき、対策を実施する。

2) 地域との連携

【ロードマップ⑥ 自主防災組織と連携した防災マップの作成及び周知, ⑦ 自主防災組織による避難マニュアルの作成】

地域（住民）と連携を図る中で、避難マニュアル作成支援に取り組むなど、防災意識の向上を図る。

3) 維持管理 【ロードマップ⑩ 各種管理施設の点検・報告, ⑪ 用排水路の維持管理】

各種管理施設の点検を実施し、必要な維持管理を行う。

- 実施内容：各種管理施設の点検・維持管理
- 実施箇所：各種管理施設
- 実施効果：排水施設の機能確保